



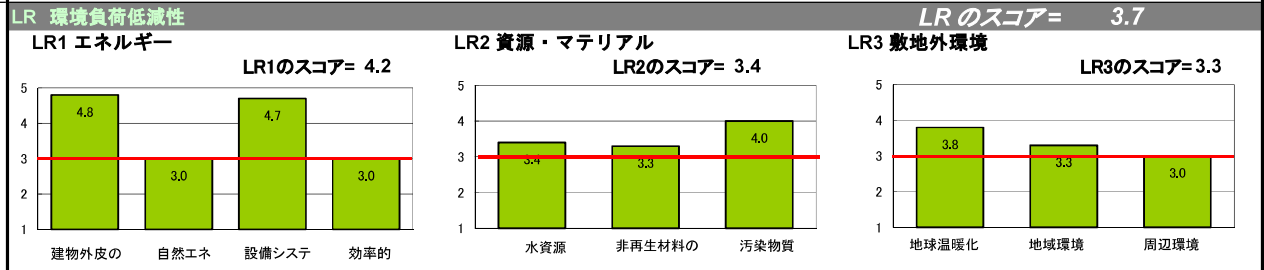
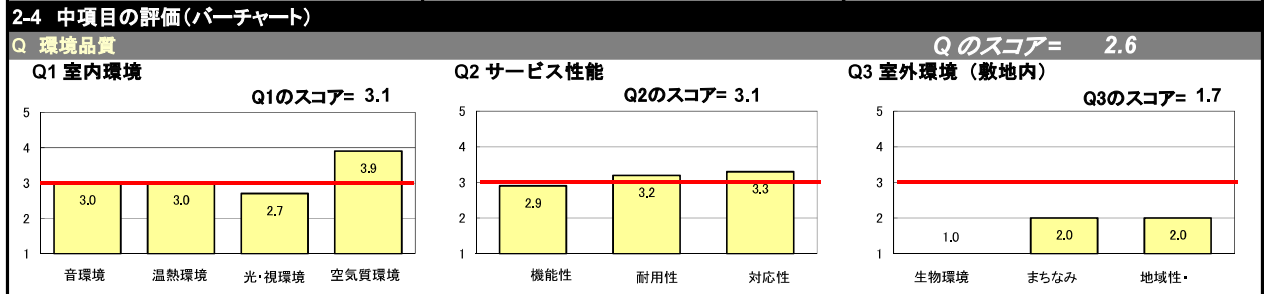
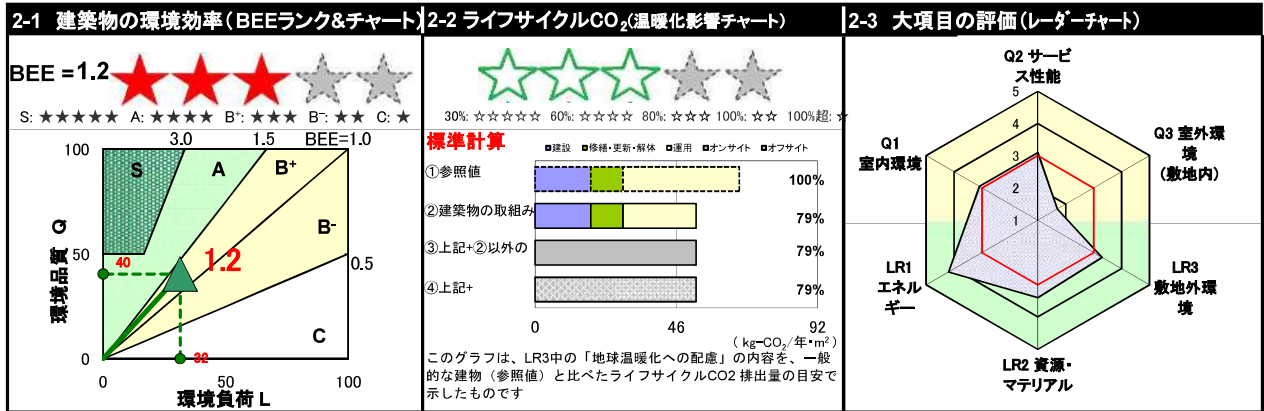
□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)ヤマト科学株式会社清水産原工場 新築工事	BEE	1.2	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度				
重点項目	得点 <sup>*</sup> /満点	取組み度	評価	凡例
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.9 / 5		ふつつ	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8 / 5		がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.8 / 5		がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.4 / 5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	
			ふつつ 3 点以上	
			がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点	3.9	
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>④GL鋼板35年</li> <li>④ビニル床シート20年</li> <li>④主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率率的運用)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦BPI=0.82</li> <li>⑨BEI=0.63</li> </ul> </li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑪自動水栓に加え、節水型便器を採用</li> <li>⑪再利用できるユニット部材を用いている</li> <li>⑫ケミクリート</li> <li>⑬発泡剤を用いた断熱材を使用しないグラスウール</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑭LCCO=79%</li> </ul> </li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 Q-1 3 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制 LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 2.1.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.1.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.1.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.1.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.1.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.1.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒 LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善			
	<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>			2.8
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備		
	<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>			2.8
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑳階高3.7m以上</li> <li>⑳壁長さ比0.11</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ Q-3 3 3.1 ⑳ 地域性への配慮、快適性の向上			
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>			2.4	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上)</li> <li>■敷地外環境対策 (㉕温熱環境悪化の改善)</li> </ul>	Q-3 1 ⑵ 生物環境の保全と創出 2 ⑵ まちなみ・景観への配慮 3 3.2 ⑶ 敷地内温熱環境の向上 LR-3 2 2.2 ⑵ 温熱環境悪化の改善			

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヤマト科学株式会社清水産	階数	地上2F
建設地	静岡県静岡市清水区庵原町字大久	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	40人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2023年7月14日
敷地面積	11,997㎡	作成者	大和ハウス工業株式会社静岡流通
建築面積	3,015㎡	確認日	
延床面積	3,397㎡	確認者	



### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
これは、CASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用 外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用		特に無し
<b>Q1 室内環境</b> 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用	<b>Q2 サービス性能</b> 外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特に無し
<b>LR1 エネルギー</b> BPI=0.82 BEI=0.63	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+GB-R)	<b>LR3 敷地外環境</b> LCCO2排出率 = 79 %

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される